

様式1 令和4年度 山梨県立甲府工業高等学校(定)学校評価実施計画(自己評価・学校関係者評価)

学校目標・経営方針 自ら考え、自ら学ぶ態度を育て、たくましい心と思いやりのある心を育て、一人一人が活かされる明るい学校づくりに努める

山梨県立甲府工業高等学校 校長 菊島圭一

本年度の重点目標	1 基礎・基本的学力の定着と生徒の能力を伸ばす授業を実践する。
	2 4年間を見据えたキャリア教育を実践し、生徒の希望する進路実現に向けた、指導を徹底する。
	3 基本的な生活習慣の確立と、社会人に必要な素養を身に付けさせる。
	4 学校の教育活動の広報に努め、保護者や・地域に本校の理解を深め、教育活動に参加できるような体制づくりを図る。
	5 将来仕事に役立つ資格取得の取得を目指す。

達成度	A ほぼ達成できた。(8割以上)
	B 概ね達成できた。(6割以上)
	C 不十分である。(4割以上)
	D 達成できなかった。(4割以下)

評価	4 良くできている。
	3 できている。
	2 あまりできていない。
	1 できていない。

自 己 評 価			
本年度の重点目標			令和4年度末評価(令和5年1月10日現在)
番号	評価項目	具体的方策	方策の評価指標
1	基礎的・基本的な学力が定着する授業と生徒の能力を導き伸ばす授業を実践する。	基礎・基本を重視して「わかる授業」を実践する。	授業アンケート 相互授業参観
		基本的な計算や漢字の読み書き能力を身に付けるために課外指導・補修指導を行う。	補修・課外等の実施回数 小テスト
		生徒の学習への興味・関心を高めるよう、授業内容を工夫する。	授業アンケート 相互授業参観
2	4年間を見据えたキャリア教育を実践し、生徒の希望する進路実現に向けた、指導を徹底する。	1年次から「進路意識」の啓発を行う。	アンケート 学科希望調査
		キャリア教育の充実を図り、進路意識を高める。	アンケート キャリア教育の実施状況
		就職希望者に対する指導を充実させる。	アンケート 指導の実施回数
3	基本的な生活習慣の確立と、社会人に必要な素養を身に付けさせる。	基本的な生活習慣を確立させる。(挨拶の徹底)	アンケート 登校指導 生徒会による挨拶運動
		社会人として必要なマナー・ルールを身に付けさせる。	道徳教育の実施結果 アンケート
		行事や生活体験文の作成を通じて、自ら考え行動できるよう導く。	行事アンケート 個別懇談
4	学校活動の広報に努め、保護者や・地域に本校の理解を深め、教育活動に参加できる体制を図る。	保護者参観により、学校への理解を深めてもらう。	学校公開の実施結果
		ホームページやメール発信により、教育活動や緊急連絡などの情報を発信する。	HPの更新回数 メールの発信回数
		学校説明会により、定時制への理解を得る。	学校説明会の実施結果
5	将来仕事に役立つ資格取得の取得を目指す。	HRや授業を通じて、資格に関する情報を提供し、資格取得に導く。	各科による資格取得状況
		社会人による講話や実技指導を実施し、資格取得に対する意識を高める。	講話や実技指導の実施状況

学校関係者評価	
実施日(令和5年1月25日)	
評価	意見・要望等
3	・基本的な計算や漢字の読み書きを習得させる努力は評価します。 ・働きながら学ぶ生徒であるため、先生方が大変苦労して授業に向かっていることがわかります。個々の能力差がある中で、生徒一人ひとりが理解できる授業プログラムの構築に今後も取り組んでください。
3	・技術職としての専門性をもった教育なので、培った能力を活かせるところに就職できるよう進路指導をお願いしたい。 ・現在の高校生に対しキャリア教育は必須である。今後も強力で推進して行ってほしい。
3	・生徒各自が学校の行事・決まり事等を遵守し、組織人としての在り方も学んでいけるように、学校外でも自覚を持って生活してほしいと思います。 ・交通ルールを守るなどは当たり前ですが、交通事故に気を付けてください
4	・授業参観は保護者に学校の様子を知っていただくうえで意義のあることだと思います。さらに情報の発信に努めていただきたい。 ・PRIについてはかなり成果をあげているようだ。さらなる工夫と実行を続けてほしい。
4	・外部技術者の講座の実施が評価できる。 ・将来のため、資格の必要性・重要性を教え、一つでも多く取得させるよう努力してほしい。

留意点 (1)重点目標と評価項目については、各学校の現状と課題に基づき、実情に合わせて重点化し、設定する。  
(2)学校関係者評価については、年度当初に今年度の重点目標の現状と具体的な対策を説明し、評価に必要な情報提供を計画的に行う。学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価委員会等を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。